

林竹堂 はくたう 漢學者。嘉永元年十一月讃岐國高松生れ。明治二十年十一月十六日歿（八四—九七）。諱賢、字晉卿、通稱瀧三郎。初の軍人志し、明治一年大阪共學寮に入ると、病を獲て歸郷。舊高松藩儒片山冲堂に學び、次で自ら家塾を開いた。十二年上京、神田西小川町で漢學舎を設け、傍ら三島中洲の師事して漢學を研鑽。十五年歸郷して學舎を再興、入學者多く、高松の私塾中最大となる。塾は英語、數學を加へ、板垣退助の側近として知られる栗原亮一を英語教師に迎へた（このことありつた。學生に五十人を講義中、腦溢血を患ふ。法學者林毅陸は養嗣子。